

# 熊本地震から2年一復興は進んでいるのか



工事発注完了	267件	26億5,555万円
うち工事完成分	165件	11億560万9千円
工事未完成分	102件	15億4,994万千円
(契約見込件数 380件 契約率 約70%)		
未発注分	113件	5億363万9千円

被害額（被害査定額） 31億5,918万9千円



## 担当者の声



建設課 土木係  
係長 木山 丈也

熊本地震や豪雨災害において、町内の道路・河川・橋梁に多大な被害が発生しました。生活に支障となる幹線道路から優先的に発注を進めていき、平成29年度末時点で267件、26億5,555万円の発注が完了しました（金額ベース84%。うち完成したものは、165件、11億560万9千円が完成しました（同42%）。現在は橋梁および河川復旧を主に進めており、農繁期までに完成できるように急いでいます。4月以降は、残り113件（主に七瀬・田代地区）の発注を行い、平成30年度までに全ての箇所を完成できるように努めます。橋梁災について、八竜橋の復旧は6月までの完成

を目指します。秋只橋については、高速道路管理者と協議を重ねていますが、下の高速道路を通しながらの課題が多く、未だ着手できないところですが、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解よろしくお願ひ致します。

大きな箇所の復旧については、用途がたつてきていますが、当時は見えなかった路面沈下や小さな被災箇所について、要望が後を絶ちません。これに対しては、単独災害事業にて110件2億円を追加し、4月以降に現場着手する計画です。平成30年度においても、特に通行に支障となる箇所の調査を行い、復旧に努めていきたいと考えています。



# 公共 農住

熊本地震により被災した中原団地、玉虫団地、辻団地、妙見坂団地については「既設公営住宅復旧事業」により、復旧工事を実施しています。そのうち、玉虫団地、辻団地、妙見坂団地については平成29年度で完了し、中原団地については、今年11月の長期避難解除に向け、現在建築・設備・外構の復旧工事を進めているところです。

## 公共施設等被害一覧

公共施設（役場等）	4億1,415万4,353円
保育施設	89万2,434円
小中学校施設	3億8,766万1,738円
町営住宅	6億121万8,980円
公民館施設	2,146万6,476円
合計	14億2,539万3,981円

## 担当者の声



建設課 住宅係  
係長 藤村 大



【整備戸数】 21ヶ所 425戸

応急仮設住宅

- 入居戸数 355戸 889人（H30.3.31時点）
- 最大入居戸数 420戸 1,098人（H29.6.15時点）

みなし応急仮設（県内）

- 入居戸数 305戸 755人（H30.3.31時点）
- 最大入居戸数 385戸 1,004人（H29.4.30時点）

## 担当者の声

震災後間もない時期には、仮設・みなし仮設住宅は、最大2,093人の入居がありました。現在は、少しずつ再建は進んでいるものの、多くの方が入居を余儀なくされている状況です。

平成28年の熊本地震から2年が経ちます。熊本の町も少しずつ落ち着きを取り戻していますが、地震からの復旧復興はまだです。被災者の再建支援につきましても、日が経つごとに状況は変化します。その時々合った支援を役場全体で連携しながら行っていきたいと思っています。



企画財政課 復興推進係  
係長 徳永 伸一郎



農業振興課 耕地係  
技師 長脇 右京

## 担当者の声

平成28年熊本地震及び豪雨災害では、復旧申請のありました609件（約1,000箇所）の災害査定を受けました。

現在、121件の取下げがあり、304件の発注を行っています。9月頃までに発注する計画です。

発災から現地調査、災害査定等に不眠不休で取組んできましたが、復旧にはまだまだ時間がかかる状況です。農家の方々の1日も早い営農再開に向けて今後も頑張っていく所存です。

災害復旧申請されなかった被災箇所については、復興基金による自力復旧支援事業（農地、農業用施設を活用して復旧を行っているだけ）かと思えます。

また、中山間地区については、

契約見込件数 488件（契約率 約62%）  
うち 契約件数 304件

被害額（被害査定額） 10億7,990万8千円  
うち 農地被害 295件 5億5,026万4千円  
農業用施設 193件 5億2,784万6千円

御船町のために  
町民のために